

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

令和4年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

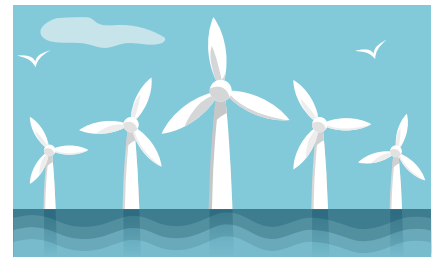
Q 電気料金の値上げに伴い、観光街路灯や観光施設に係る光熱水費も増加するとのことだが、旧1市3町別の主な施設は。

A 干潟地区は、長熊釣り堀センターと隣接しているスポーツ公園の2施設。海上地区には対象施設はなく、飯岡は萩園公園のトイレ、海岸道路にある平松のトイレ、上永井の刑部岬展望館、観光街路灯が112本。旭地域は

矢指の海水浴場の管理棟と倉庫。

Q 歳入の漁業振興基金2千万円の算定根拠は。

A 海匠漁業協同組合と千葉銚子オフショアウィンド合同会社、旭市の三者で協定を結び、今年から26年間で10億円の出捐金が発電事業者より拠出されることが示されている。そのうち、令和4年、5年、6年はそれぞれ2千万円ずつ拠出される予定。



審査結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で原案のとおり可決。請願1件について、賛成者なしで不採択。

文教福祉常任委員会

令和4年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

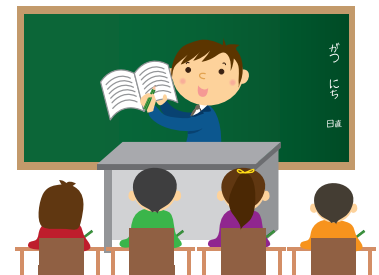
Q 電力が逼迫している中、小中学校では節電についてどのような取り組みをしているのか。

A 小中学校の電力消費のほとんどは照明と空調機であるが、照明は児童生徒の学習に欠かせないものであり、空調についてもコロナ感染症対策で換気をしながらこまめに温度設定している。文部科学省からは、適切な学習環境を確保した上で無理のない範囲で省エネルギーに取り組むよう通知さ

れており、児童生徒にはこまめに電気を消すよう指導するなど節電に取り組んでいる。

Q 小中学校の節電に向けての取り組みについては、きちんとプログラムを作って、教育的にやってもらいたいが見解は。

A 現在、プログラムはないが、学校ごとに学級活動の中でSDGsや環境活動について学習しているので、節電についても学習内容の中に取り込めるよう考えていきたい。



審査結果

委員会付託の1議案について、全員賛成で原案のとおり可決。請願1件について、賛成少数で不採択。

総務常任委員会

令和4年度旭市一般会計補正予算について(議案第9号)

Q 物価高騰対策臨時特別給付金の対象人数と給付方法、実施時期は。

A 対象人数は全旭市民。給付方法は、各世帯へ申請書を郵送し、返送後、順次指定口座に振り込む。予算可決後、速やかに事務に入り、一番早い方で10月後半に給付できる予定。



旭市職員の育児休業等に関する条例の一部改正(議案第14号)

Q 市役所男性職員の育児休業取得の実績は。

A 令和元年度以前の実績はなく、令和2年度は対象21人中2人で9.5%が取得、令和3年度は、17人中1人で5.9%が取得。令和4年度は、7月末現在で5人対象者のうち2人が取得を検討中。

審査結果

委員会付託の4議案について、議案第1号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決。請願1件について、賛成少数で不採択。